

平成28年度 事業評価総括調書
《総合評価及び達成状況》

平成29年 6月
福島市水道局

平成28年度 実施計画総括評価調書

表-1 実施計画総合評価集計表

	戦略目標	アクションプラン	重点事業	事業配点	評価点	達成率	備考
基本方針1	2	5	7	15.00	12.34	93.07%	
基本方針2	3	10	19	30.00	19.66	79.63%	
基本方針3	4	14	28	40.00	28.54	77.50%	
基本方針4	2	5	6	15.00	11.00	70.60%	
合計	11	34	60	100.00	71.54		

ふくしま水道事業ビジョン 達成率

79.44%

表-2 各課実施計画評価集計表

	総合評価				各課評価		備考
	重点事業	事業配点	評価点	達成率	各課得点	各課評価	
水道総務課	11	13.95	10.48	77.35%	380/500	AA	
営業企画課	26	48.10	29.92	67.88%	328/500	A	
経理課	2	1.30	1.20	89.23%	460/500	AAA	
配水課	5	8.90	7.24	106.40%	420/500	AAA	
給水課	6	10.15	7.78	85.81%	430/500	AAA	
建設課	4	10.00	8.00	93.00%	320/500	A	
施設管理センター	6	7.60	6.92	96.84%	370/500	AA	
合計	60	100.00	71.54				

表-3 実施計画バランススコアカード内訳

視点(バランススコアカード)	アクションプラン	重点事業	事業配点	評価点	達成率	備考
財務	4	9	15.00	10.25	89.47%	
市民	18	29	52.50	40.52	86.65%	
業務プロセス	9	19	25.00	14.77	59.00%	
学習と成長	3	3	7.50	6.00	77.07%	
合計	34	60	100.00	71.54		

表-4 各課実施計画バランススコアカード内訳

	重点事業	財務	市民	業務プロセス	学習と成長	備考
水道総務課	11	1	4	4	2	
営業企画課	26	2	16	8	0	
経理課	2	1	1	0	0	
配水課	5	2	1	2	0	
給水課	6	0	3	2	1	
建設課	4	2	2	0	0	
施設管理センター	6	1	2	3	0	
合計	60	9	29	19	3	

基本方針1 安全でおいしい水の供給《7事業》

評価点計
12.34
事業配点計
15.00

「水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します」

戦略目標	アクションプランと実施計画	配点	AP 評価点	担当課	事業 No.
1 水質管理の徹底 配点計 評価点計 (7.50) 5.84	①水安全計画の運用管理【継続】	(2.50)	2.34		
	1 水質管理の徹底			施設管理センター	No.1
	2 水質保全専用排水施設の整備			配水課	No.1
	3 給水装置維持管理啓発の充実			給水課	No.1
	②放射性物質情報の充実【継続】	(2.50)	2.50		
	1 情報提供の充実			施設管理センター	No.2
	③鉛製給水管の早期解消【継続】	(2.50)	1.00		
	1 鉛製給水管の解消			給水課	No.2
	2 上水道未普及地域対策 配点計 評価点計 (7.50) 6.50	①民営簡易水道組合統合の推進【継続】	(5.00)	5.00	
1 組合統合の推進				建設課	No.1
②未給水地域解消の推進【継続】		(2.50)	1.50		
1 未給水解消地域での上水道加入促進				営業企画課	No.1

基本方針2 災害に強い水道の構築《19事業》

評価点計

19.66

事業配点計

30.00

「適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します」

戦略目標		アクションプランと実施計画		AP	担当課	事業		
	配点計	評価点計	配点	評価点		No.		
1 施設更新と維持管理の強化	(17.50)	11.41	① 老朽管更新の推進【継続】		(5.00)	3.00		
			1 アセットマネジメントに基づく管路更新の検証	営業企画課			No.2	
			2 老朽管更新事業の推進	建設課	No.2			
			② 水道施設の計画的更新【継続】		(2.50)	1.75		
			1 基幹施設更新の推進	建設課			No.3	
			2 非常用電源の充実の推進	施設管理センター	No.3			
			③ 水道施設情報管理システムの整備【新規】		(5.00)	2.00		
			1 水道施設情報管理システムの構築・運用	営業企画課			No.3	
			④ 水道施設の延命化・長寿命化【継続】		(2.50)	2.50		
			1 鋼管の延命化	配水課			No.2	
			⑤ 配水施設の管理強化【継続】		(2.50)	2.16		
			1 配水施設の保安全管理計画の策定	施設管理センター			No.4	
			2 配水池内部の清掃・点検	施設管理センター			No.5	
						3 水系ブロック最適化の検証	営業企画課	No.4
			2 水道施設の機能強化	(5.00)	3.50	① 施設耐震化の推進【継続】		(2.50)
1 重要施設における耐震化の推進	営業企画課	No.5						
2 緊急時給水拠点確保等事業(重要給水施設配水管)の推進	建設課	No.4						
② 水運用機能の強化【継続】		(2.50)				1.50		
1 水運用機能強化の推進	営業企画課		No.6					
3 災害対策の強化	(7.50)	4.75	① バックアップ機能の強化【継続】		(2.50)	1.00		
			1 非常用飲料水給水拠点施設整備計画の策定	営業企画課			No.7	
			② 相互応援体制の充実【新規】		(2.50)	1.50		
			1 他事業体との相互応援に関する協定等の締結	水道総務課			No.1	
			2 広域的な相互融通体制構築の検討	営業企画課	No.8			
			③ 災害対策計画の充実【継続】		(2.50)	2.25		
			1 災害対策体制の見直し	水道総務課			No.2	
			2 防災訓練の実施	水道総務課			No.3	
			3 緊急時初動体制の充実	配水課			No.3	
			4 応急給水訓練の実施	給水課	No.3			

基本方針3 持続可能な水道経営《28事業》

評価点計
28.54
事業配点計
40.00

「お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します」

戦略目標	アクションプランと実施計画	配点	AP 評価点	担当課	事業 No.
1 経営基盤の強化 配点計 評価点計 (20.00) 14.59	① 戦略的経営の推進【継続】	(2.50)	2.00		
	1 戦略的営業会議の導入・実践			営業企画課	No.9
	2 財政見通しの策定			経理課	No.1
	3 遊休施設用地の利活用及び処分			水道総務課	No.4
	② 業務の品質管理強化【継続】	(2.50)	1.52		
	1 水道料金等徴収業務委託の品質管理強化			水道総務課	No.5
2 設計マニュアル・共通仕様書の適時改正			営業企画課	No.10	
3 工事の品質管理向上			営業企画課	No.11	
③ 水需要減少への対策【継続】	(5.00)	4.32			
1 水需要減少対策の推進			営業企画課	No.12	
2 個別需給給水契約制度の実施			水道総務課	No.6	
3 水道施設規模の最適化			営業企画課	No.13	
④ 有効率の向上【継続】	(5.00)	3.50			
1 効果的な漏水調査の実施			配水課	No.4	
2 配水ブロック流量の監視・運用			配水課	No.5	
⑤ 上水道加入の促進【継続】	(2.50)	2.00			
1 上水道加入促進のための制度整備			給水課	No.4	
2 上水道加入促進のための営業活動			営業企画課	No.14	
⑥ 幅広いサービスへの挑戦【継続】	(2.50)	1.25			
1 幅広いサービスへの挑戦			水道総務課	No.7	
2 苦情対応の迅速徹底			水道総務課	No.8	
2 組織力の強化 配点計 評価点計 (7.50) 6.00	① 人材の育成【継続】	(2.50)	2.50		
	1 福島市水道局人材育成計画に基づく研修			水道総務課	No.9
	② 組織・体制の確立【継続】	(2.50)	1.50		
1 働きやすい職場環境の整備			水道総務課	No.10	
③ 官民連携による技術力向上【継続】	(2.50)	2.00			
1 給水装置工事に関する技術力向上			給水課	No.5	
3 戦略的広報広聴の推進 配点計 評価点計 (7.50) 6.45	① 広報広聴の充実【継続】	(2.50)	2.20		
	1 戦略的広報計画の策定			事業完了	営業企画課 No.15
	2 広報活動の推進			営業企画課	No.16
	3 水道週間イベントの開催			営業企画課	No.17
	4 経営情報の提供			経理課	No.2
	5 水道モニター制度の充実			事業完了	水道総務課 No.11
② ペットボトル「ふくしまの水」の活用【新規】	(2.50)	2.50			
1 ペットボトル「ふくしまの水」の活用			営業企画課	No.18	
③ 水道出前教室・水道出前講座の充実【継続】	(2.50)	1.75			
1 水道出前教室の充実			営業企画課	No.19	
2 水道出前講座の充実			営業企画課	No.20	
4 水道事業の多様な連携の推進 配点計 評価点計 (5.00) 1.50	① 民間活力導入の検討【新規】	(2.50)	0.50		
	1 民間活力導入の検討			営業企画課	No.21
② 広域的連携の検討【継続】	(2.50)	1.00			
1 広域的連携の検討			営業企画課	No.22	

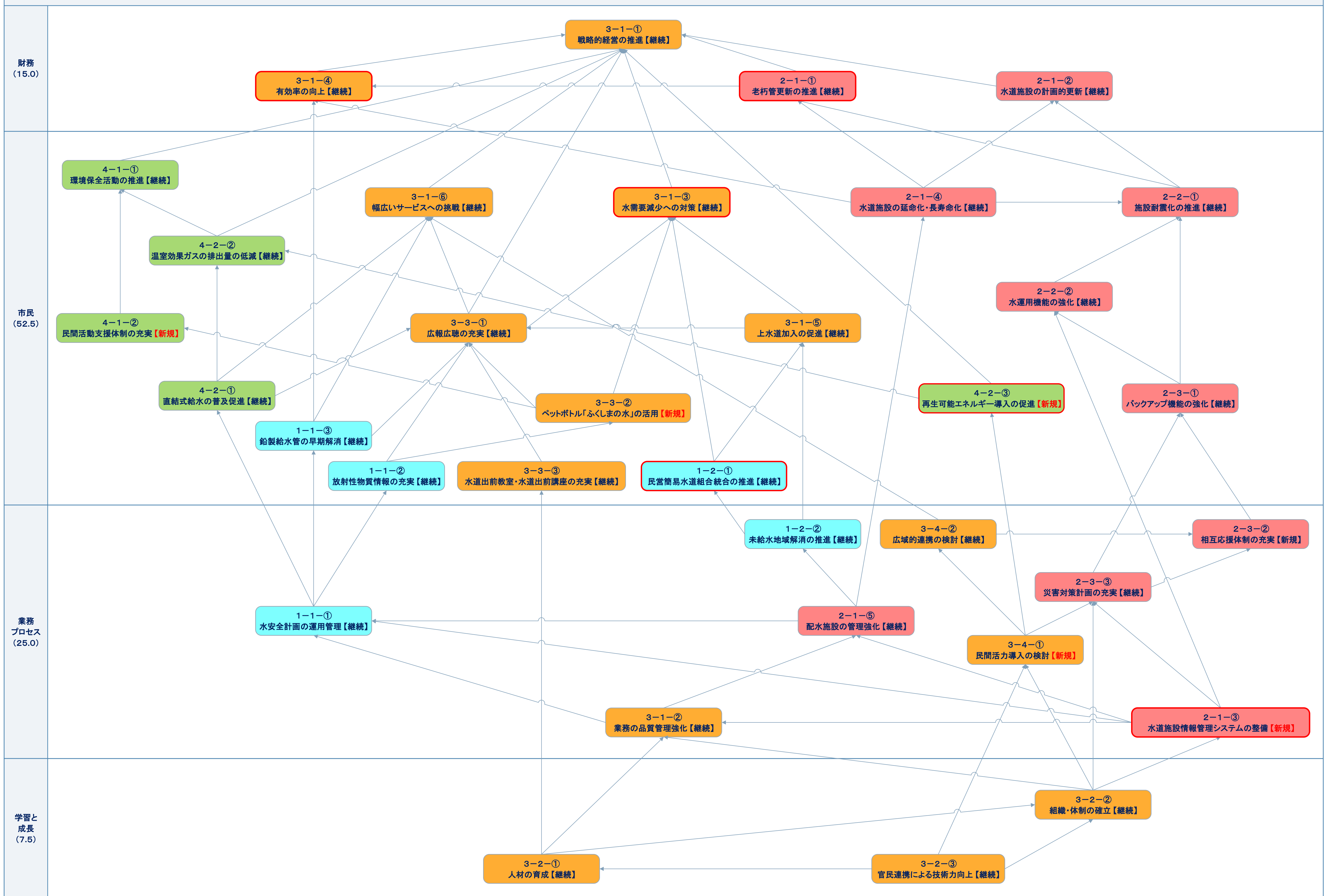
基本方針4 地球にやさしい水道へ挑戦《6事業》

「良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します」

評価点計
11.00
事業配点計
15.00

戦略目標		アクションプランと実施計画		AP	担当課	事業	
	配点計	評価点計	配点	評価点		No.	
1 水源周辺環境の保全	(5.00)	4.00	① 環境保全活動の推進【継続】	(2.50)	2.00		
			1 環境保全活動の推進			営業企画課	No.23
2 環境負荷の低減	(10.00)	7.00	② 民間活動支援体制の充実【新規】	(2.50)	2.00		
			1 水道水源保全活動補助金の交付			営業企画課	No.24
2 環境負荷の低減	(10.00)	7.00	① 直結式給水の普及促進【継続】	(2.50)	2.50		
			1 直結式給水への取り組み			給水課	No.6
			② 温室効果ガス排出量の低減【継続】	(2.50)	1.50		
2 環境負荷の低減	(10.00)	7.00	1 温室効果ガス排出量の低減			営業企画課	No.25
			2 水道施設の省エネルギー化			施設管理センター	No.6
2 環境負荷の低減	(10.00)	7.00	③ 再生可能エネルギー導入の促進【新規】	(5.00)	3.00		
			1 再生可能エネルギー導入の促進			営業企画課	No.26

ふくしま水道事業ビジョン 《BSC戦略マップ》



基本方針1:安全でおいしい水の供給

戦略目標1:水質管理の徹底

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	水安全計画の運用管理【継続】	水質管理の徹底	安全な水の供給を確実にする水道システムの構築により、水源からお客様が管理する蛇口まで、配水部門との連携を図りながら水安全計画に基づき水質管理の徹底を図る。	水質基準不適合率 水質基準不適合回数／全検査回数×100	0.0%	0.0%	0.0%	5	A	100.00%	0.90	0.90	施設管理センター	水質基準は全て適合し、安心、安全な水道水の安定的な供給が維持され、事業を達成しました。
①-2	水安全計画の運用管理【継続】	水質保全専用排水施設の整備	給水区域内の水質保全管理の強化を図るとともに、水質保全のための管末排水量を正確に把握し、さらには排水量を可能な範囲で調整することで無収水量の縮減に努める。	全体末端排水量縮減率 (整備計画箇所における排水縮減量／H27全体排水量)×100	1.20%	7.30%	1.10%	4	B	91.67%	0.80	0.64	配水課	全体末端排水量縮減率の目標値1.2%に対し1.1%と若干及ばなかったが無収水量の縮減が図られ、事業を概ね達成しました。
①-3	水安全計画の運用管理【継続】	給水装置維持管理啓発の充実	個人財産である給水装置は、維持管理も個人で行うものであるが、個々の管理意識が低く、これに起因する水質の悪化や厳冬期における凍結事故等が発生することもあるため、これらの事故防止に対する重要さの認識と、意識を高揚させるための啓発活動を行う。また、貯水槽の無料点検を継続し、給水装置の維持管理について指導・助言を行い、各種広報媒体を通じて積極的に衛生管理の徹底を促す。	ホームページアクセス件数	7,400件	7,400件	8,071件	5	A	100.00%	0.80	0.80	給水課	凍結時期に合わせ、ホームページ、ラジオ等において、水道管の凍結に関する重点的な注意喚起を実施したほか、貯水槽に関する広報については、市政だより、ラジオ等にて実施し、給水装置維持管理に関する啓発活動に努め、事業を達成しました。
②-1	放射性物質情報の充実【継続】	情報提供の充実	放射性物質による水道水への影響を国が定めた計画に基づいて県が定期的検査を実施することにより、水道水の安全性が確認されていることを水道局のホームページ等によりお客さまに分かりやすく情報提供する。	情報の提供方法数	1媒体	4媒体	1媒体	5	A	100.00%	2.50	2.50	施設管理センター	市民アンケートの結果より、3割近い水道利用者が放射性物質への不安を抱えていることが確認され、情報提供の充実について検討したほか、ホームページのリニューアルに伴い情報提供媒体の充実が図られ、事業を達成しました。
③-1	鉛製給水管の早期解消【継続】	鉛製給水管の解消	鉛製給水管は、平成15年の水質基準改正により鉛の濃度に関する基準値が厳格化され、早期解消が求められている。公道部に埋設された鉛製給水管は主に老朽铸铁管に接続され、旧市内及び飯坂地区の一部で使用されているため、老朽管解消・緊急時給水拠点確保等事業などに併せ、積極的に解消する。また、お客様の財産となる箇所については、「鉛製給水管取替工事補助金交付制度」を活用した早期解消を推進する。	鉛製給水管率(PI:A401) (鉛製給水管使用件数／給水件数)×100	0.45%	0.00% (H29)	0.73%	2	C	61.64%	2.50	1.00	給水課	指定事業者やホームページを通じた「鉛製給水管取替工事補助金交付制度」の周知及び局発注による老朽管の布設替工事等に併せた取り替えによる鉛製給水管の解消が図られ、事業を半分程度達成しました。
合計											7.50	5.84		

基本方針1:安全でおいしい水の供給

戦略目標2:上水道未普及地域対策

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	民営簡易水道組合統合の推進【継続】	組合統合の推進	施設の老朽化や水質悪化、担い手不足など管理上の問題をかかえている民営簡易水道組合の上水道統合への推進や給水区域内の上水道が整備されていない地域への施設整備を進め、安全でおいしい水の供給地域拡大を推進する。	対象組合統合率 統合組合数/対象組合総数(6組合)×100	16.6%	100.0%	16.6%	5	A	100.00%	5.00	5.00	建設課	簡易水道統合計画に基づき新町小樽簡易水道組合を統合したほか、平成29年度の桜本簡易水道組合統合に向けた配水管整備に着手し、事業を達成しました。
②-1	未給水地域解消の推進【継続】	未給水解消地域での上水道加入促進	給水区域内の上水道未普及地域における配水管整備後の上水道への加入促進に取り組む。	給水普及率(PI:B116) (現在給水人口/給水区域内人口)×100	98.94%	100.00%	98.70%	3	C	99.76%	2.5	1.50	営業企画課	配水管を新たに整備した地区において、上水道への加入促進に取り組む等、自家用水道使用者に対する上水道への切替周知に努めたことで、給水普及率の現状維持に繋がりを、事業を概ね達成しました。
合計											7.50	6.50		

基本方針2:災害に強い水道の構築

戦略目標1:施設更新と維持管理の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	老朽管更新の推進【継続】	アセットマネジメントに基づく管路更新の検証	アセットマネジメントに基づく長期的な管路更新計画を策定し、平成32年度以降、年間の平均更新率を1.00%(事業費ベースを基本とする)とすることで、更新サイクル100年による事業平準化の構築を実現するため、事業進捗の精査と漏水修繕実績の分析・評価を踏まえた更新計画の見直しを行い、次世代(H38以降)の更新施設を選定する。	管路の経年度(経年化・老朽化管路の割合) (経年化管路+老朽化管路)÷管路総延長×100	12.81%	26.64% (上限値)	12.95%	3	B	98.92%	2.50	1.50	営業企画課	今後10年間(平成37年度迄)の実施計画策定については、局内の機構改革に伴い建設課が担当となることから、アセットマネジメントに基づく老朽管更新事業における業務分担について確認し、営業企画課では長期的な総括管理を担うもと局内調整を図りました。 管路の経年度については、老朽管更新事業に遅延が生じたものの事業調整を図り、事業を概ね達成しました。
①-2	老朽管更新の推進【継続】	老朽管更新事業の推進	アセットマネジメント(中長期的財政収支に基づく資産管理)の手法を用いた管路の更新計画に基づき、更新需要の平準化(年間更新率1.0%)を目指した効果的かつ効率的な老朽管更新を推進する。	管路更新の達成率 更新済延長÷計画期間内の計画更新延長×100	5.56%	100.00%	4.19%	3	B	75.36%	2.50	1.50	建設課	工事の入札不調等により、計画とおりの受注には至らなかったものの、事業調整を図り、実績延長4,015mを更新しました。これにより、管路更新の達成率は計画値5.56%に対し、実績値4.19%となり、事業を概ね達成しました。
②-1	水道施設の計画的更新【継続】	基幹施設更新の推進	耐震化基本計画に基づく重要施設の更新・補強・統廃合等により、平成39年度までに主要な受・配水池のレベル1耐震化率100%を目指した、効果的かつ効果的な施設整備を推進する。	基幹施設レベル1耐震化率 基幹施設耐震適合数(容量)÷基幹施設総数(容量)×100	72.1%	99.2%	72.1%	2	C	100.00%	1.25	0.50	建設課	神ノ森浄水場更新は施工方法の見直しにより工事期間を延長(4か年)したほか、油畑配水池耐震化については入札不調により工事発注を中止としたことから、スケジュールに遅延が生じましたが、当該年度における基幹施設レベル1耐震化率は現状が維持され、事業を達成しました。
②-2	水道施設の計画的更新【継続】	非常用電源の充実の推進	災害時施設のバックアップ電源を適正に管理することで、施設の安全性を高め、安全安心な水道水の供給に努める。 停電時でも一定時間施設を安定的に稼働させ給水を確保する。(UPSの取替等の基準は、設置後5年経過で内部バッテリーの交換、更に5年経過後、UPS本体の更新を実施する)	無停電電源装置(UPS)更新計画に基づく更新数 更新数量(個)÷全数量(個)×100	7.0%	100.0% (72/72)	7.0%	5	A	100.00%	1.25	1.25	施設管理センター	計画していた5個の無停電電源装置(UPS)取替を実施し、事業を達成しました。
③-1	水道施設情報管理システムの整備【新規】	水道施設情報管理システムの構築・運用	水道施設情報管理システムは、次世代へ向けた維持管理ツールとして構築するものであり、現在分散されている膨大な既存データの一元化を図り、統括的なシステム運用を整えることで、多様な業務による業務効率の向上を図る。	整備進捗率 単年度整備費(円)÷総事業費(円)×100	23.24%	100.00% (H30)	0.00%	2	C	0.00%	5.00	2.00	営業企画課	水道施設情報管理システム構築に伴う基本方針を整え、局内の合意形成が得られたことから、新たなスケジュールによりシステム構築の準備に着手しましたが、整備進捗率は0.0%と進捗がなかったことから、事業を達成しませんでした。

基本方針2:災害に強い水道の構築

戦略目標1:施設更新と維持管理の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
④-1	水道施設の延命化・長寿命化【継続】	鋼管の延命化	基幹管路及び主要配水管において、主に河川横断の水管橋、橋梁の添架管、軌道敷や国道横断に用いられている耐震性能に優れた溶接鋼管(SP)を、経年劣化による腐食から防止するため塗装替、電食防止器具の設置や管路更生によるメンテナンスを行い長期活用を図るものである。	管路更生進捗率	14.0%	100.0% (14ヶ所)	21.0%	5	A	150.00%	2.50	2.50	配水課	管路更生予定2箇所のところ、漏水予防のため1箇所前倒しで実施したことから、管路更生進捗率は、目標14%に対し21%となり、事業を達成しました。
⑤-1	配水施設の管理強化【継続】	配水施設の保全管理計画の策定	施設保全管理計画を策定し、配水池等(電気・機械含む)の保全管理適正化を図ることにより、施設の安全性を高め安全安心な水道水の供給に努める。	計画が策定されていること(進捗率)	50.0%	100.0%	38.0%	4	B	76.00%	0.90	0.72	施設管理センター	配水施設保全計画の基になる修繕計画の素案を作成し、事業を概ね達成しました。
⑤-2	配水施設の管理強化【継続】	配水池内部の清掃・点検	施設保全のため、年次計画に基づき配水池等の定期的点検、清掃・点検を実施し、施設の安全性を高めるとともに管理状況を反映した更新計画の見直しにより、効率的な施設運営を行う。(全37施設のうち、計画期間内に27施設での清掃・点検を実施)	清掃・点検実施率 実施施設数/計画対象施設数(27施設)	15.0%	100.0%	15.0%	5	A	100.00%	0.80	0.80	施設管理センター	計画していた4施設の点検、清掃を実施し、事業を達成しました。
⑤-3	配水施設の管理強化【継続】	水系ブロック最適化の検証	安全・安心でおいしい水道水をより快適にご利用いただくため、水圧・水質、施設稼働状況、水安全計画に起因する事案等を総合的に検証し、更なる安定供給に向けた水系ブロックの最適化に努める。	水系ブロックの最適化率 最適化ブロック数/総ブロック数×100	100.0%	100.0% (毎年)	100.0%	4	B	100.00%	0.80	0.64	営業企画課	水安全計画の運用に伴う維持管理の強化により、現行水系ブロックの最適化が確認され、事業を達成しました。
合計											17.50	11.41		

基本方針2:災害に強い水道の構築

戦略目標2:水道施設の機能強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	施設耐震化の推進【継続】	重要施設における耐震化の推進	耐震化基本計画に基づく重要施設の更新・補強・統廃合等により、平成39年度までに主要な受・配水池のレベル1耐震化率を100%とすることから、効果的かつ的確な更新を推進する。また、基幹管路(水管橋)については、更新・補強等により、平成37年度までにレベル2耐震化率を100%とすることで、基幹管路におけるレベル2耐震適合率100%を構築する。	基幹施設レベル1耐震化率 基幹施設耐震適合数(容量)／基幹施設総数(容量)×100	72.1%	96.4%	72.10%	4	B	100.00%	1.25	1.00	営業企画課	基幹施設及び基幹管路における施設の更新事業等において、入札不調等の影響を受け、計画とおりの事業推進が図られず課題が確認されたが、基幹施設レベル1耐震化率は現状が維持され、事業を達成しました。
①-2	施設耐震化の推進【継続】	緊急時給水拠点確保等事業(重要給水施設配水管)の推進	福島市地域防災計画等に基づき、災害時に重要な拠点となる医療施設、人工透析施設、避難拠点施設等を対象に、耐震機能を有する配水管等の施設整備を国庫補助制度を活用し推進する。	事業進捗率 布設延長／総布設延長×100	100.0%	100.0% (H28)	93.4%	4	B	93.40%	1.25	1.00	建設課	入札不調の影響を受け一部事業の見送りが確定したが、事業調整を図り、事業を概ね達成しました。
②-1	水運用機能の強化【継続】	水運用機能強化の推進	水系ブロックの施設能力と稼働状況を踏まえた水系ブロック間の相互融通について検討することで、非常時における水運用バックアップ計画を策定する。また、重要施設におけるバックアップ機能の強化について検討するほか、水系ブロック相互融通に要する作業マニュアル等を策定し、相互融通管路の定期的な排水作業を実施する。	各種計画策定の進捗率	33.3%(事業進捗率)	100.0% (H30:計画策定)	25.0%(事業進捗率)	3	B	75.08%	2.5	1.50	営業企画課	現状施設の稼働状況の分析等について未着手であるが、福島市西部地区上水道整備計画に伴う水運用の見直しを図り、既存施設からの融通による新たな供給方法を確立したほか、既存施設の統廃合について計画し、事業を概ね達成しました。
合計											5.00	3.50		

基本方針2:災害に強い水道の構築

戦略目標3:災害対策の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値(H28)	最終年度目標値(H37)	実績値(H28)	最終評価(H28)	進捗状況評価(H28)	事業達成率(H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	バックアップ機能の強化【継続】	非常用飲料水給水拠点施設整備計画の策定	東日本大震災の経験より、受・配水池に確保された非常用飲料水の水輸送に時間を要したことから、当時の状況を分析し、水輸送を含めた応急給水について見直しを図り、自助・共助・公助との連携による給水拠点の充実について検討する。	応急給水施設密度(PI:B611) 応急給水施設数/(現在給水面積/100)	5.1箇所/100km ²	5.1箇所/100km ² ※計画策定後再設定	5.1箇所/100km ²	2	C	100.00%	2.50	1.00	営業企画課	東日本大震災時の現状分析は未着手であるが、民営簡易水道組合の水源地、災害時における予備水源地として活用可否について現状を確認しました。実績値の応急給水施設密度は、現状値を維持しており、事業を達成しました。
②-1	相互応援体制の充実【新規】	他事業体との相互応援に関する協定等の締結	広域的な大規模災害が発生した際、「水道局防災計画」に基づく、計画的な応急給水活動及び応急復旧活動を実施するため、独自に他事業体と相互応援に関する協定等を締結する。	都市間協定数	25.0%(事業進捗率)	2事業体(H30)	25.0%(事業進捗率)	4	B	100.00%	1.25	1.00	水道総務課	他事業体の状況、協定についての情報収集を行い、協定締結に向けた事業に着手し、事業を達成しました。
②-2	相互応援体制の充実【新規】	広域的な相互融通体制構築の検討	災害時の支援・協力体制の充実を目的に、隣接水道事業者との広域的な連携(連絡管整備等)による相互融通の体制構築について検討する。	広域的な相互融通体制構築の検討(進捗率)	20.0%(事業進捗率)	100.0%(H32) 検討結果報告	10.0%(事業進捗率)	2	C	50.00%	1.25	0.50	営業企画課	隣接水道事業者との連携が見込まれる地区を選定するにあたり、選定条件の検討に着手し、事業を半分程度達成しました。
③-1	災害対策計画の充実【継続】	災害対策体制の見直し	現在、水道局防災計画を適時見直し運用しているが、水質汚染やテロ対策など危機管理に対する要求が拡大している。総合的な災害対策マニュアルを基に、適時見直しを実施する。また、内部周知の徹底を図る。	計画が適正に見直され、適切に運用されていること	100.0%(単年度事業達成率)	100.0%(単年度事業達成率)	75.0%(単年度事業達成率)	4	B	75.00%	0.65	0.52	水道総務課	機構改正・人事異動に伴う災害時動員体制を見直したほか、新型インフルエンザ流行時の臨時予防接種について医療機関との覚書を締結し、事業を概ね達成しました。
③-2	災害対策計画の充実【継続】	防災訓練の実施	市や県等が主催する総合防災訓練への参加をすすめるとともに、水道局独自の訓練を実施し、参加人数の増進に努める。また、日本水道協会東北地方支部が実施する給水訓練にも参加する。	職員の訓練のべ参加率 参加のべ人数/全職員数	30.0%以上	30.0%以上	43.2%	5	B	100.00%	0.65	0.65	水道総務課	市総合防災訓練、地域防災訓練、日本水道協会東北地方支部が実施する合同給水訓練に参加したほか、局独自の応急給水訓練を実施し、計画値を上回る43.2%の延べ参加人数となり、事業を達成しました。
③-3	災害対策計画の充実【継続】	緊急時初動体制の充実	福島市水道局防災計画に基づき訓練を行い問題点を抽出し更なる充実を図る。	訓練回数 災害対策訓練実施回数	2回	2回	3回	5	A	100.00%	0.60	0.60	配水課	訓練回数は2回予定していましたが、職員訓練時間の目標1.5時間/人を達成するため3回(1.9時間/人)実施し、緊急時における職員の対応力向上を図り、事業を達成しました。

基本方針2:災害に強い水道の構築

戦略目標3:災害対策の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
③-4	災害対策計画の 充実【継続】	応急給水訓練の 実施	災害発生時には必要に応じて、応急給水を素早く行える体制を常に整えておく必要があるため、定期的な機器等の点検及び操作の手順を含めた給水訓練を実施する。なお、平和通り耐震貯水槽については、地元との連携を図りながらの訓練を実施する。さらに、市総合防災訓練及び各支所における地域防災訓練は、水道総務課が主体となり局内全体で対応することで、応急給水体制の充実を図る。	応急給水訓練参加人数 計90人(職員58人,市民32人)	90人	90人	89人	4	B	98.89%	0.60	0.48	給水課	定期的な機器等の点検、操作手順を確認しながら訓練を実施したほか、平和通り飲料水兼用耐震貯水槽を活用した応急給水訓練についても年間計画を基に職員や地元との連携強化に努め、事業を概ね達成しました。
合計											7.50	4.75		

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標1:経営基盤の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	戦略的経営の推進【継続】	戦略的営業会議の導入・実践	水道事業経営計画に基づく戦略的な経営を推進するため、新たに営業会議を定期開催し、水道経営に直結する重点事業の進捗状況等を情報共有するほか、直面する課題の把握と対応に努め、事業推進を全局的に遂行することで、経営基盤の強化に繋げる。	水需要予測に基づく年間有取水量の達成率 年間実績有収水量/水需要予測による年間計画有収水量×100	100.00% (27,514,430m ³)	100.00% (26,235,105m ³)	101.24% (27,855,380m ³)	4	B	100.00%	0.90	0.72	営業企画課	営業会議の導入を検討した結果、情報共有会議として平成29年4月からの開催準備を整えたことから、事業を達成しました。
①-2	戦略的経営の推進【継続】	財政見通しの策定	基本計画に基づく中長期的な10か年の財政見通しを策定し、うち3か年を財政計画として位置づけたものである。なお、策定した財政見通しについて、水道事業の経営実績や社会経済状況等を反映させるため、3年ごとに財政計画を策定し、再検証する。また、毎年、計画の再評価を行いながら、より効率的な事業内容での予算措置を行い、健全な事業運営の基盤を築く。安定的な料金水準の維持と継続的な水道事業の健全性を維持していくために、引き続き効果的な事業運営をめざす。	財政見通し(財政計画)の策定	100.0%(単年度事業達成率)	現財政見通しの実行、再評価、予算への反映	100.0%(単年度事業達成率)	5	A	100.00%	0.80	0.80	経理課	財政見通し(新財政計画)の実施初年度として、財政見通しを基本とした事業運営を行ってきたほか、再評価による事業の見直しを行い、引き続き、効率的な事業運営を推進し、健全経営の強化に努め、事業を達成しました。
①-3	戦略的経営の推進【継続】	遊休施設用地の利活用及び処分	摺上川ダムからの本格受水、また水系の見直しにより59箇所が廃止施設となり、前計画においては17箇所(26,444.67m ²)が売却・借地返却された。これら遊休、廃止施設の取扱いについては、局内遊休地等検討委員会の中で、「有効利活用」「処分」両面での審議決定を経て経費削減、経営基盤の強化を進める。	売却・返地・利活用率(箇所) ((売却+返地+利活用用地箇所)÷全用地箇所)×100	50.8%	94.9% (54/59)	30.5%	3	C	60.04%	0.80	0.48	水道総務課	従来から課題であった大規模遊休資産が返還処分され、維持管理費、賃貸借料の削減による経営の効率化が図られ、事業を半分程度達成しました。
②-1	業務の品質管理強化【継続】	水道料金等徴収業務委託の品質管理強化	水道料金等徴収業務の民間委託について、フォローアップを行うため事業評価による評価を実施し、技術水準の維持・市民サービスの向上を図る。	運用面の修正を継続して行う(業務委託評価率)	100.0%	100.0%	92.5%	4	B	92.50%	0.90	0.72	水道総務課	事業評価の実施により、業務について優れている点、改善点が明確になり、ミスの防止と改善に向けて意識が高まったことから、事業を概ね達成しました。 実績値は、平成28年度事業評価の点数が550点満点中509点であったことから、これを率とした92.5%を値としました。
②-2	業務の品質管理強化【継続】	設計マニュアル・共通仕様書の適時改正	新技術の導入や指導及び通達等に常に目を向け、技術委員会を適時に開催し、設計マニュアル及び共通仕様書を現状に即した内容に順次改正することで、品質向上を目標としている。また、受注者の育成にあたる監督員の研修会を実施する。	監督員研修会開催回数(年)	1回	1回	0回	2	C	0.00%	0.80	0.32	営業企画課	設計マニュアルは、平成28年4月より改訂版をサイボーズファイル管理にアップし、職員への周知を図ったほか、共通仕様書を現状に即した内容とするため、随時検討を行いました。監督員の研修会は研修内容の検討に止まり開催には至らなかったことから、事業を達成しませんでした。

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標1:経営基盤の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
②-3	業務の品質管理強化【継続】	工事の品質管理向上	工事検査時に請負額500万円以上を対象に工事内容を評価・判定しその評価結果を受注者に通知することで品質管理の向上を図る。また、委託業務評価制度の導入を検討し、委託の成果品の品質向上に努める。なお、研修会を開催し評価結果に基づく分析結果を公表し、受注者に意識向上を図ると共に、品質管理の強化を図る。	評価結果の数値目標 (優良・良好の達成率)	95.0%	95.0%	75.4%	3	B	79.37%	0.80	0.48	営業企画課	請負額500万円以上の工事評価を公表することにより、受注者の意識向上を図り、品質の向上に努めたことから、事業を概ね達成しました。
③-1	水需要減少への対策【継続】	水需要減少対策の推進	大口使用者が上水道から地下水へ転換することを抑制するための個別需給給水契約制度を広く周知し、該当者の制度利用を促すとともに、ペットボトル「ふくしまの水」を活用し、安全で良質な水道水であることを知ってもらうことにより、水道の更なる利用の促進を図る。水道の利用状況については、定期的にお客様やイベントでのアンケートを実施し、把握する。また、市が開催する企業立地セミナーに参加し、安全で良質な水道水であることを積極的にPRすることにより、企業の誘致促進に寄与し、水需要の拡大を図る。	有収水量(水需要予測値)	27,514,430m ³	26,235,105m ³	27,855,380m ³	4	B	100.00%	1.70	1.36	営業企画課	大口使用者が上水道から地下水へ転換することを抑制するため、個別需給給水契約制度を広く周知するとともに、安全で良質な水道水であることをPRすることにより、水道の更なる利用促進が図られ、事業を達成しました。
③-2	水需要減少への対策【継続】	個別需給給水契約制度の実施	大口使用者において水道水から地下水へ転換するケースが見受けられ、これによる水道料金の減収が水道事業の経営に大きな影響を及ぼす可能性が懸念されることから、本制度を適用する者については、基準水量を超えて使用した水量に割引単価を設定することで、大口使用者の水道離れの抑制を図るとともに地域事業者の活性化を通じて水道事業の安定化につなげるものである。	制度の効果検証	100.0%(単年度事業達成率)	制度の効果検証	75.0%(単年度事業達成率)	4	B	75.00%	1.70	1.36	水道総務課	48者と契約を締結しましたが、契約後新たに地下水利用したものはなく、水道を継続使用している状況にあるため、大口使用者の水道離れの抑制が図られ、事業を概ね達成しました。 なお、当初想定した50者を下回り、契約者全体の使用水量が前年度を下回ったため、実績値を75%とする。(H28:1,482,318m ³ 、H27:1,504,172m ³ 、△21,854m ³ 、△1.5%)
③-3	水需要減少への対策【継続】	水道施設規模の最適化	水需要の減少傾向に対し、水道施設の適正規模への見直しが必要となることから、水運用基本計画の定期的な改訂により、施設更新に併せた管路口径や配水池容量のダウンサイジングに取組み、施設規模の最適化に努める。	施設利用率(PI: B104) (一日平均配水量÷施設能力)×100	74.34%	70.00% (下限目標値)	75.45%	5	A	100.00%	1.60	1.60	営業企画課	弁天山配水池(1・2号池)の更新に伴い3～5号池を廃止したほか、神ノ森浄水場の更新工事へ着手、管路更新における口径の見直し(減径)を図る等、施設のダウンサイジングに取組み事業を達成しました。

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標1:経営基盤の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値(H28)	最終年度目標値(H37)	実績値(H28)	最終評価(H28)	進捗状況評価(H28)	事業達成率(H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
④-1	有効率の向上【継続】	効果的な漏水調査の実施	「ふくしま水道事業ビジョン」の有効率目標値95%を目指し、老朽管の残存状況や漏水修繕実績等を考慮した調査地区の選定により、効率的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見・早期修繕に努め漏水量を抑制する。	有効率(PI:B111) (有効水量/配水量)×100 厚生労働省水道ビジョン(H16版)中小規模事業95.0%	93.83%	95.00%	93.55%	4	B	99.70%	2.50	2.00	配水課	平成28年度の有効率は、計画値93.90%に対し93.55%となり、平成26年度の実績に近い水準まで低下しましたが、漏水の早期発見、早期修繕に努めたことから、漏水量の抑制が図られ、事業を概ね達成しました。
④-2	有効率の向上【継続】	配水ブロック流量の監視・運用	小規模配水池系(1,000㎡以下)及び飯野水系ブロックは、夜間流量を日々確認することで異常流量を発見し易いことから、漏水の早期発見、早期修繕に繋げているが、更に水系ブロック毎の流量監視を検討し、漏水調査業務等へ反映し有効率の向上を図る。	配水ブロック流量監視の検討	50.0%(事業進捗率)		38.0%(事業進捗率)	3	B	76.00%	2.50	1.50	配水課	計画の13系統に対し18系統の最少流量監視を行った結果、8件の漏水を早期発見し、事業を概ね達成しました。 なお、配水流量計の増設にかかる検討書(配水流量計運用計画書)は、水道施設情報管理システムによる運用を見据えた内容を追加し作成を進めている。
⑤-1	上水道加入の促進【継続】	上水道加入促進のための制度整備	地下水等の自家用水道を利用の方が、新規に給水装置工事を行うにあたり、既存の前面道路に配水管が布設されていない場合に、公道または公道に準ずる道路に新たな配水管を布設する費用の全部または一部を助成する配水管布設工事助成制度、給水装置工事資金融資あっせん制度、水道加入金減免制度(限定2年間)により、上水道への切り替えを促進する。また、ホームページ等を活用した広報を積極的に実施する。	給水普及率(PI:B116) (現在給水人口/給水区域内人口)×100	98.94%	100.00%	98.70%	4	B	99.76%	1.25	1.00	給水課	助成制度を利用した上水道加入を促進するためのパンフレット作成、ホームページを活用した助成制度の周知による広報を積極的に実施し、事業を概ね達成しました。
⑤-2	上水道加入の促進【継続】	上水道加入促進のための営業活動	給水区域内の上水道未加入者を調査し、未加入者に対する個別訪問や説明会開催などの営業活動により、自家用水道利用者の更なる上水道加入を図る。	給水普及率(PI:B116) (現在給水人口/給水区域内人口)×100	98.94%	100.00%	98.70%	4	B	99.76%	1.25	1.00	営業企画課	給水区域内の上水道未加入者を調査するとともに、加入金減免制度等の周知を図り、事業を概ね達成しました。
⑥-1	幅広いサービスへの挑戦【継続】	幅広いサービスへの挑戦	水道料金支払い方法の拡充・検討を継続する。お客さま対応マニュアルの徹底を図りサービスの向上を目指す。	支払い方法の調査検討	67.0%(事業進捗率)		調査報告	67.0%(事業進捗率)	3	B	100.00%	0.75	水道総務課	水道料金支払い方法の拡充検討としてクレジットカード支払の導入について調査を行ったほか、お客さまマニュアルの徹底を図ることで、サービスの質を保持し、事業を達成しました。 なお、目標値は、支払い方法の拡充・検討を33%とし、お客さまマニュアルの徹底によるサービスの向上についてを100%と設定しており、この2つを合計した2分の1である67%が当該年度の目標値となり、実績値は事業達成により67%となります。

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標1:経営基盤の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
⑥-2	幅広いサービスへの挑戦【継続】	苦情対応の迅速徹底	苦情処理対応等の迅速対応を徹底する。また、苦情を業務へフィードバックし、お客さまサービス向上と業務の質の向上へ繋げる。	苦情対応の情報共有・業務へのフィードバック	100.0%(単年度事業達成率)	苦情対応の情報共有・業務へのフィードバック	25.0%(単年度事業達成率)	2	C	25.00%	1.25	0.50	水道総務課	苦情があった際の迅速な情報共有及びそれに対する業務内での徹底した対応に努めたが、情報共有方法についてはCS委員会に代わる新たな制度の検討には至らなかったことから、事業を達成しませんでした。
合計											20.00	14.59		

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標2:組織力の強化

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値(H28)	最終年度目標値(H37)	実績値(H28)	最終評価(H28)	進捗状況評価(H28)	事業達成率(H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	人材の育成【継続】	福島市水道局人材育成計画に基づく研修	水道水の安定供給を持続し、かつ多様化するお客さまニーズへ対応できる、専門的知識や技術とともに幅広い知識や対応能力を持った職員の育成を図るため、外部機関が行う研修への参加や内部研修を実施する。	職員1人当りの研修時間(外部・内部の合計)(PI:C202,C203) 職員が研修を受けた総時間/全職員数(再任用除く)	15.0時間/人	15時間/人 外部:11h 内部:4h	20.4時間/人	5	A	100.00%	2.50	2.50	水道総務課	外部研修への積極的な参加と内部研修の実施により、職員1人当たりの研修時間について、計画値を上回る20.4時間となったことから、事業を達成しました。
②-1	組織・体制の確立【継続】	働きやすい職場環境の整備	職員の働きやすい職場環境の整備に向けて、適正文書管理を徹底するとともに、職員提案制度の導入についても検討を行う。また、職場環境改善に向けた業務及び組織体制の見直し改善について適宜検討を行う。	適正文書管理	100.0%(単年度事業達成率)	適正文書管理の継続	50.0%(単年度事業達成率)	3	C	50.00%	2.50	1.50	水道総務課	適正文書管理を実施するため、保存文書量の調査及び保管場所の確保等の検討を行ったほか、働きやすい職場環境の整備に向け、業務及び職場体制の見直しを行い、事業を半分程度達成しました。
③-1	官民連携による技術力向上【継続】	給水装置工事に関する技術力向上	お客様に安全な水道水を安心して使用してもらうためには、法令等に則った給水装置工事が施行さなければならない。そのため、「福島市水道局指定給水装置工事事業者規程」第20条に基づき、講習会を開催することで、指定給水装置工事業者及び主任技術者等に対する法令等の遵守、知識や技術の取得を促す。併せて、優良指定給水装置工事事業者などの表彰を実施し、事業者及び主任技術者の施工技術の向上と意欲の高揚を図る。	指定給水装置工事事業者講習会参加率 (参加指定工事事業者数/総指定工事事業者数)×100	100.0%	100.0%	81.2%	4	B	81.20%	2.50	2.00	給水課	指定工事事業者を対象に講習会を開催し、各種申請方法や処分に関する講習を実施したほか、優良な指定工事事業者の表彰と外部講師による講演会を実施し、法令等の遵守、知識や技術の取得を促したことにより、事業を概ね達成しました。
合計											7.50	6.00		

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標3:戦略的広報広聴の推進

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値(H28)	最終年度目標値(H37)	実績値(H28)	最終評価(H28)	進捗状況評価(H28)	事業達成率(H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	広報広聴の充実【継続】	戦略的広報計画の策定	お客さまの多様なニーズを把握するためアンケートを実施するとともに、世代ごとに伝えたい内容を厳選した戦略的広報を実施するため「戦略的広報計画」を策定する。また、イベント等でアンケートを実施し、広報について検証する。	アンケート情報収集割合(PI:C502) (アンケート回答人数/給水人口)×1,000	4.0	4.2 (人/1,000人)	3.9	5	D	97.50%	0.50	0.50	営業企画課	事業完了(平成28年度) お客様のニーズを把握するためアンケートを実施し、戦略的に広報活動を行うための「福島市水道局広報プラン」を策定したことから、事業を達成し完了しました。
①-2	広報広聴の充実【継続】	広報活動の推進	お客さまがより見やすく分かりやすい表示と内容とするためホームページのリニューアルを行い、積極的に情報を提供する。水道局広報紙「SuRiKaMi」については、常に市民の皆さんに興味を持っていただけるような紙面づくりを行うとともに、多くの方々に見ていただけるように努める。	ホームページアクセス件数 (事業者向けページを除く)	250,000件	250,000件	244,746件	5	A	97.90%	0.50	0.50	営業企画課	お客様目線を意識し、ホームページのリニューアルを実施するとともに、広報紙「SuRiKaMi」を年4回発行し、お客様への配布を行い、事業を概ね達成しました。
①-3	広報広聴の充実【継続】	水道週間イベントの開催	毎年6月1日から7日までの一週間を「水道週間」とし、全国的にキャンペーン行事が展開されています。様々な広報活動などを通じ、水道について国民の理解と関心を高め、水道事業の更なる発展を目的としており、本市も本行事の開催意義を踏まえ、水道週間イベントを開催する。ポスターコンクール等を実施し、作品の展示、表彰式を行うとともに、水道週間の開催意義に基づき更なる若者等に興味を引くための啓発活動を行い、水道水の利用を促す。	来場者数	2,000人	2,000人	1,278人	3	B	63.90%	0.50	0.30	営業企画課	水道週間にあわせて、ポスターコンクールやトークショー等、水道についての理解と関心を高めるためのイベントを開催し、事業を半分程度達成しました。
①-4	広報広聴の充実【継続】	経営情報の提供	ホームページや広報紙等による水道事業会計予算、決算をはじめ、財政計画等の事業経営の方針、将来における財政状況等について積極的に経営情報を提供するとともに、より分かりやすい内容編成に努める。また、市民アンケートで提供情報の周知度等を把握し、より多くの市民に発信した情報が受け入れられるよう検証した上で、情報提供の充実に努める。	経営情報の提供回数	7回/年	7回/年	5回/年	4	B	71.43%	0.50	0.40	経理課	定期的な財政公表については、予算、決算、執行状況、経営分析等と年5回実施し、経営の透明性の確保に努めたことから、事業を概ね達成しました。
①-5	広報広聴の充実【継続】	水道モニター制度の充実	お客さま本位の水道経営を目指すため、水道事業全般にわたり市民の意見・提案等の声を直接聞く機会として開催している水道モニター制度について、より多くの市民に参加していただけるよう事業内容を検討・見直しを行う。	水道モニター事業内容の充実	100.0%(単年度事業達成率)	新制度実施継続	100.0%(単年度事業達成率)	5	D	100.00%	0.50	0.50	水道総務課	事業完了(平成28年度) 水道モニター会議を年5回実施するとともに、次年度の新事業実施に向けて内容の見直しがあったことから、事業を達成し完了しました。

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標3:戦略的広報広聴の推進

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
②-1	ペットボトル「ふくしまの水」の活用【新規】	ペットボトル「ふくしまの水」の活用	良質な環境で育まれた水を水源とする水道水の安全性とおいしさについて、ペットボトル「ふくしまの水」を活用した様々なPRを行い、水道水の利用促進を図る。また、ペットボトルの売上の一部を水源保全活動の支援に役立て、水質を守り水道利用者へ還元するとともに、購入者の水源保全への意識の高揚を図る。	売上本数	24,000本	24,000本	145,407本	5	A	100.00%	2.50	2.50	営業企画課	ペットボトル「ふくしまの水」を店舗で販売するとともに、各種イベントでPRを行い、水道水の利用促進を図ったほか、売上の一部を水源保全活動の支援に役立てた等、事業を達成しました。
③-1	水道出前教室・水道出前講座の充実【継続】	水道出前教室の充実	水の大切さや水道事業への理解と関心を深めるために開催している、小学生を対象とした水道出前教室の内容の検討を行い、更なる充実を図る。	児童受講率 (受講児童数/市内小学校4学年児童数)×100	80.0%	80.0%	78.9%	4	B	98.63%	1.25	1.00	営業企画課	市内34校からの申し込みがあり、小学4年生1,744名の児童が水道出前教室を受講し、水の大切さや水道事業への理解と関心を深めてもらうことができ、事業を概ね達成しました。
③-2	水道出前教室・水道出前講座の充実【継続】	水道出前講座の充実	水の大切さや水道事業への理解と関心を深めるため、市民団体などを対象に開催している水道出前講座の内容の検討を行い、更なる充実を図る。	講座開催回数	8回	8回	5回	3	B	62.50%	1.25	0.75	営業企画課	目標回数には達しなかったが、多くの市民の方に水道事業について理解を深めてもらうことができ、事業を半分程度達成しました。
合計											7.50	6.45		

基本方針3:持続可能な水道経営

戦略目標4:水道事業の多様な連携の推進

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	民間活力導入の検討【新規】	民間活力導入の検討	少数精鋭による事業運営を可能とするため、官民連携による技術面・経営面での各種ノウハウの有効活用を目的とした官民交流のあり方を検討する。	民間活力導入の検討	20.0%(事業進捗率)	検討結果報告 (H32)	5.0%(事業進捗率)	1	C	25.00%	2.50	0.50	営業企画課	局内の各課事業の情報共有を目的とした戦略的営業会議の導入を検討し、会議を通じて局内業務の把握に努める準備を整えた程度に止まり、事業を達成しませんでした。
②-1	広域的連携の検討【継続】	広域的連携の検討	市町村経営を原則とする水道事業において、安定的・効率的な運営に努めるため、多面的な視点から近隣水道事業者との共通業務の共同化等、広域的連携について検討する。また、様々な形態の広域化や民間活用を含む水道事業の連絡形態について比較検討する。	広域的連携の検討	20.0%(事業進捗率)	検討結果報告 (H32)	10.0%(事業進捗率)	2	C	50.00%	2.50	1.00	営業企画課	隣接水道事業者と各々の給水区域内上水道未整備地区へ対する隣接水道事業者からの供給による連携の可能性の把握に努め、事業を半分程度達成しました。
合計											5.00	1.50		

基本方針4:地球にやさしい水道へ挑戦

戦略目標1:水源周辺環境の保全

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	環境保全活動の推進【継続】	環境保全活動の推進	良質で安全な水道水の源となる水源の維持のため、水源地域に関わる関係機関と連携し、お客さまとの協働による水道水源保全活動を実施する。	年参加人数	50人	200人	30人	4	B	60.00%	2.50	2.00	営業企画課	水源の環境維持のため、摺上川ダム梨平公園及びダム湖周辺の清掃活動を実施し、事業を半分程度達成しました。
②-1	民間活動支援体制の充実【新規】	水道水源保全活動補助金の交付	良質で安全な水道水の源となる水源の維持のため、民間企業や団体が実施する水道水源保全活動に対し補助金を交付する。	年間補助件数	3件	3件	2件	4	B	66.67%	2.50	2.00	営業企画課	水源である摺上川ダムの梨平公園周辺で植林の手入れやゴミ拾いなど水源保全活動を行う2団体に対して補助金を交付し、事業を半分程度達成しました。
合計											5.00	4.00		

基本方針4:地球にやさしい水道へ挑戦

戦略目標2:環境負荷の低減

No.	アクションプラン	事業名	事業概要	評価指標	計画値 (H28)	最終年度 目標値 (H37)	実績値 (H28)	最終評価 (H28)	進捗状況 評価 (H28)	事業達成率 (H28)	事業配点	評価点	担当課	達成状況及び実績値の説明
①-1	直結式給水の普及促進【継続】	直結式給水への取り組み	水道事業者はエネルギー関連法制度の対象事業者であり、エネルギー消費や環境負荷の少ない環境効率性・経済効率性の良い水道システムへの変革を行うことが求められていることから、温室効果ガス排出量の現状を数値化し、環境負荷の少ない資材の導入等、環境負荷低減を意識した取り組みを検討する。	直結給水率(PI:A204) (直結給水件数/給水件数)×100	97.6%(H27実績値)		97.7%	5	A	100.00%	2.50	2.50	給水課	水理計算をする際の水圧に関して、給水装置工事場所での水圧採用を可能とし、指定工事事業者への周知及び窓口協議における情報提供に努めたことから、事業を達成しました。
②-1	温室効果ガス排出量の低減【継続】	温室効果ガス排出量の低減	発電事業者への資産提供を基本とした官民連携による再生可能エネルギー導入の促進は、水道施設の優位性を生かした位置エネルギーの有効活用や遊休資産の土地活用等、あらゆる可能性を検証・検討し、小水力発電・太陽光発電の導入を促進する。	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量(PI:B303) 二酸化炭素(CO ₂)排出量/年間配水量×106	21(H27実績値)	17 (g・CO ₂ /m ³)	22	3	B	95.45%	1.25	0.75	営業企画課	老朽管更新事業等、管路工事に使用する配管資材は、材質に応じて製造過程において排出される温室効果ガス排出量に相違があることを確認し、水道施設における現状の数値化に向けた基礎数値の情報収集に努めたことから、事業を概ね達成しました。
②-2	温室効果ガス排出量の低減【継続】	水道施設の省エネルギー化	施設更新に合わせて省エネルギー対策を積極的に推進し、水道水の供給方法等を見直すことにより、水道供給に係るエネルギー使用の原単価の改善を目指す。(更新時における省エネ機器の導入検討等)	水道施設電力量 (動力費、光熱水費に係る総電力量)	1,056,390	862,359 (kwh/年)	1,074,558	3	B	98.31%	1.25	0.75	施設管理センター	施設の運転方法見直しや省エネ機器採用等によって前年度比16,686kwhの削減を図り、事業を概ね達成しました。
③-1	再生可能エネルギー導入の促進【新規】	再生可能エネルギー導入の促進	発電事業者への資産提供を基本とした官民連携による再生可能エネルギー導入の促進は、水道施設の優位性を生かした位置エネルギーの有効活用や遊休資産の土地活用等、あらゆる可能性を検証・検討し、小水力発電・太陽光発電の導入を促進する。	水道施設における再生可能エネルギー比率 水道施設における再生可能エネルギー発電量/全水道施設の年間電力使用量×100	20.0%(事業進捗率)	100.0% (H32)	10.0%(事業進捗率)	3	B	50.00%	5.00	3.00	営業企画課	官民連携による新たな取組として着手した北部配水池小水力発電事業は、平成30年4月からの運転開始を目標に設計協議を進めており、事業を半分程度達成しました。
合計											10.00	7.00		